

「ヒト」と「ブンカ」をつなぐ 情報誌

HCF news

HAMAMATSU
CULTURAL FOUNDATION

Vol. **31**
2018 winter

特集

閉幕！ 第10回浜松国際ピアノコンクール レポート

- 審査結果&コンクールダイジェスト ● 優勝者 ジャン・チャクムル インタビュー
- 小川典子審査委員長より ● 審査委員インタビュー ● 公式ライターが見つめた2週間
- スクールコンサート／ホームステイ&ホームコンサート／シティコンサート
- コンクールを創る人 市民ボランティア／静岡県華道連盟西部会／調律師 ● 来場者コメント&聴衆賞



公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

VOL.31 | 2018 winter

contents



【特集】
閉幕！
第10回浜松国際ピアノコンクール レポート

- 04  審査結果&コンクールダイジェスト
- 06  優勝者 ジャン・チャクムル
インタビュー
- 07  第10回浜松国際ピアノコンクールを終えて
審査委員長 小川典子
- 08  審査委員インタビュー
ヤン・イラー・チェック・フォン・アルニン
アレクサンダー・コプリン/ポール・ヒューズ
- 10  公式ライターが見つめた2週間
高坂はる香
- 12  オークラアクトシティホテル浜松
ホテルクラウンパレス浜松
- 14  スクールコンサート/ホームステイ&ホーム
コンサート/シティコンサート
- 18  コンクールを創る人
市民ボランティア/静岡県華道連盟西部会/調律師
- 21  来場者コメント&聴衆賞
- 22  [各館つれづれ便り]
浜松市浜北文化センター/クリエート浜松
アクトシティ浜松/浜松市天竜生ホール
- 24  [のんびり、ゆっくり、みゅーじあむvol.20~浜松文芸館~]
浜松の文芸人はすごい方ばかり！
- 26  [こだわりの食とともにコンサートの余韻を楽しむ]
ビストロ ロケット
串カツ くまた
- 28  HCF Event Schedule

はじまりはいつも、 ヒトツの感動から。

節目となる第10回の幕が下りた浜松国際ピアノコンクール。
連日客席は満席で、メディアの取材も多く、まさに記念すべき大会と
なった。

演奏もさることながら、出場者の声を聴くと、音楽に真摯に向き
合う姿が純粹でいて、そしてとても奥深い。

聴衆と音楽を共有すること、ホールを温かい雰囲気にして幸福感で
満たされて欲しいこと、偉大な作曲家の思いと対峙する姿を見て
もらいたいことなど、音楽・ピアノ・作品をこよなく愛し、聴衆との
一体感を望んでいた。

これから世界へ旅立つ出場者たちは、すでに芸術家として歩み始め
ている。そして、多くの聴衆を魅了する演奏家となって浜松へ戻って
きてくれると信じている。なぜなら、彼らは芸術家として成功する
ために必要な思想をすでに持っているから。

私たち浜松市文化振興財団は、これからも素晴らしい演奏家との
出逢いを提供し続けてまいります。
すべてのはじまりは、そう、ヒトツの感動から。

公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

今月の表紙



静岡文化芸術大学
デザイン学部デザイン学科4年
布目 じゅん(ぬめじゅん)

作品名「Message glass」

ガラスで「ありがとう」という文字を作りました。
これは、一本のガラス棒をバーナーで炙って
加工した作品です。
ガラスを誰かに贈ることを想定し、作品がメッ
セージそのものになればと考えました。
いつもは照れ臭くて伝えられないような気持ち
を、ガラスでクリアに伝えることを目的として
制作しました。

第10回 浜松の軌跡 trajectory



平成3年の第1回から始まり、平成最後の年となる平成30年に第10回を迎えた浜松国際ピアノコンクール。世界中から88人の出場者が浜松に集い、11月の約3週間にわたって、熱い戦いを繰り広げました。第1位はトルコ出身のジャン・チャクムルさん。チャクムルさんは、室内楽賞と札幌市長賞も同時に受賞されました。本選で、お客様の投票によって決まる「聴衆賞」は、牛田智大さんが受賞。本選に出場した6人のうち、日本人が4名、さらにその中の2名が静岡県出身となり、日本人の活躍が目覚ましいコンクールであったことを印象付けました。

Result 審査結果



第1位
室内楽賞 | 札幌市長賞
ジャン・チャクムル/トルコ



第2位
聴衆賞 | ワルシャワ市長賞
牛田 智大/日本



第3位
イ・ヒョク/韓国



第4位
今田 篤/日本



第5位
務川 慧悟/日本



第6位
安並 貴史/日本



奨励賞
アンドレイ・イリュシキン
/ロシア

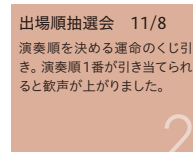


日本人作品最優秀
演奏賞
梅田 智也/日本

THE 10th
HAMAMATSU
INTERNATIONAL
PIANO
COMPETITION



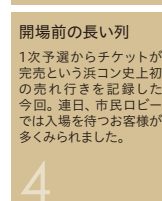
ピアノ選び 11/6～7
出場者が登録後、最初に行ったのがピアノ選び。3台のピアノを弾き比べ、コンクールで使用するピアノを選びました。演奏する曲に合わせ、1次・2次と違うメーカーを選択することも。



出場順抽選会 11/8
演奏順を決める運命のくじ引き。演奏順1番が引き当てられと歓声が上がりました。



第1次予選 11/9～13
88人による第1次予選は、午前中から夜遅くまで続く長丁場の5日間でしたが、出場者のアテンドを始め、お客様のご案内、審査員席のタイムキーパー、ホール内のアナウンスなど、ボランティアの方々のサポートが光り、スムーズに行われました。



開場前の長い列
1次予選からチケットが完売という浜コン史上初の売れ行きを記録した今回。連日、市民ロビーでは入場を待つお客様が多くみられました。



第2次予選 11/15～17
課題曲の日本人作品「SACRIFICE」が世界初演となりました。同じ曲を24人全員が演奏するとあって、一人ひとりの感性がより濃く表れていました。



オフィシャルShop
会場のオフィシャルショップは、多くのお客様で賑わっていました。浜コンがモチーフとして描かれた小説「蜜蜂と遠雷」関連商品のほか、公認スイーツ、予選・本選の即売CD等も大人気でした。



第3次予選 11/19～20
見どころは、課題曲であるモーツァルトのピアノ四重奏。ソロリタールを含む70分以内のプログラムを、12人がソリタール形式で演奏しました。



本選 11/23～24
厳しい予選を勝ち抜いた6名が高岡健指揮東京交響楽団と協演。ファイナリストたちの伝えたい想いが溢れ出る気迫のこもった本選となりました。



表彰式 11/24
舞台上に審査委員、客席前方ではファイナリストが見守るなか、小川典子審査委員長による結果発表。名前が呼ばれると歓声がわき上がり、舞台へ上るファイナリストへ盛大な拍手が送られました。



入賞者披露演奏会 11/25
本選から一夜明け、晴れやかな表情の入賞者たちが満員の大ホールで演奏を披露。チケットは例年販売していなかった4階席までを開放。浜コンの注目度の高さがうかがえました。



ネット配信
第6回から続くコンクールのライブ配信は、会場に来られない方に大好評でした。また、演奏後のVOD配信は、来場したお客様も「もう一度聴きたい」とあって多くのアクセスがありました。(VOD配信は2019年1月31日まで視聴可能)

優勝者ツアー開催 2019年4月から国内・海外における優勝者ツアーが開催されます。詳細はホームページ等をご覧ください。



第10回 浜松国際ピアノコンクール優勝者 |

ジャン・チャクムル

CAN CAKMUR
interview

インタビュー

取材・文／高坂はる香

■表彰式から一夜明けて、優勝した今のご気分は？

まず、結果にはすごく驚きましたね。こういうことに心の準備ができていない人は誰もいないと思います。が…まさに突然の出来事です。朝、目覚めて最初に感じたのは「こわい」という気持ちでした。今何が起きているのか、これから何が起きるのか全然分らない。スケジュールがすでに組まれていて、多くのコンサートがあり、同時に引き続き学校に通って勉強しなくてはなりません。僕はまだ道の始まりの地点にいるのです。インターネットで世界中の皆さんが演奏を聴いてくれました。今後は、浜松で入賞したピアニストだと認識され、扉が開かれます。これまで以上に学び、練習し続け、より良い音楽家にならなくては。

■あなたの音楽は、自由に生きているという感じがします。子供時代にどのような音楽教育を受けたのですか？

それはありがとう！多分それに影響しているのは、音楽大学に入る以前、一般的な音楽教育機関でのピアノ教育を受けていなかったからだと思います。レッスンを個人的に受けていて、子供の頃から一度も音楽が重荷になりませんでした。僕は、新しい曲にアプローチするときでも、古いレパートリーを弾くときでも、その音楽に確かな愛情を感じているかどうか大切にしています。今がそのときだと思う瞬間に演奏するのです。

■このコンクールを通して、自分の新しい一面を発見したところでは？

もちろん、たくさんのことを発見しました。今回コンクールに参加してワイマールに帰る前に必ず果たそうと思っていたのは、練習を重ねるなかで、自分自身のいろいろな面を探索することでした。優勝は、多くの要素が重なってこうして実現したにすぎません。もちろん光栄ですが、コンクールとは何があるか分からないものですから。

■今学んでいるドイツのワイマールは、コンクールで演奏したリストやシューベルトと関わりのある土地ですね。

僕がもともとワイマールで勉強することにしたのは、グリゴリー・グルツマン先生が教えているからという理由でした。今ではホームと呼ぶほどワイマールが大好きです。街のいたるところにリストが住んでいた頃の雰囲気が残っていて、あの時代とつながれることが嬉しいのです。ちなみに僕がファイナルで弾いたリストのピアノ協奏曲は、ワイマールでリストによって初演されているんですよ！とてもキュートで面白い偶然ですよ。



第10回浜松国際ピアノコンクールを終えて

審査委員長 小川 典子

第10回浜松国際ピアノコンクールは、第1次予選から本選まで、熱気あふれる演奏と満場のお客前で、連日、盛り上がりました。コンクール会期中、アクティビティを中心に、街じゅうにピアノの音が満ちあふれたことは、私に大きな喜びをもたらしてくれました。多くの出場者が浜松に滞在し、数えきれないほどのシティコンサートに参加してくれたことも、このコンクールを層の厚いものとしてくれたと感じています。

厳しいDVD審査を通過した88人（ピアノの鍵盤と同じ数！）の若いピアニスト達が繰り広げた熱演を、我々11人の審査委員たちは全身で受け止める16日間でした。今回は、コンクールの世界的傾向にならない、プログラムに出場者たちの名前・年齢・国籍・プログラムのみを記載することとし、先入観なく審査することをめざそう、という志で臨みました。全国各地から聴きに來てくださった方々は、出場者の演奏と小説「蜜蜂と遠雷」の登場人物たちを心のなかで重ね合わせることもあったのではないでしょ



うか。一人ひとりの演奏は個性が光り、それぞれの人生が音楽に投影されていました。

「国際音楽コンクール世界連盟」役員をはじめとする世界各国の来賓からは、出場者たちの演奏が高い水準に保てたのは、浜松市の方々の熱意と、コンクールの完璧な運営に他ならないでしょう、と賞賛の声を頂いております。

コンクールは、出場者にも、運営側にも、強靱な体力と精神力を強いる現場です。華やかな舞台の裏で、私たちを日々支えて下さったピアノ技術者の方々、浜松ボランティアの方々に、心から御礼申し上げます。

第10回優勝者は、アジアとヨーロッパにまたがるトルコのジャン・チャクムル君です。アジアを代表するコンクールにふさわしい、素晴らしい才能を世界に送り出すこととなりました。「浜コン」を頂点に、浜松が世界に先駆けるピアノの音を生み出していると感じられる、忘れがたいコンクールとなりました。

※上記インタビューは一部の掲載です。こちらの全文を含む入賞者インタビューは公式HP（www.hipic.jp）からご覧いただけます。



インタビューの全文は
浜松国際ピアノコンクール公式 HP
からご覧いただけます。

www.hpic.jp

取材・文／高坂はる香

ヤン・イラーチェック・フォン・アルニン

【ウィーン国立音楽大学ピアノ科教授】

私は中村紘子さんの親しい友人として長らくお付き合いさせていただき、日本に来たときにはいつも食事を一緒にしていました。彼女はこのコンクールと浜松国際ピアノアカデミーを大きくすることに尽力されましたね。

若い方は、その時点では演奏がパーフェクトではないかもしれませんが、大きな可能性を秘めています。コンクールは、すぐに盛んな演奏活動ができる人を見つけることだけが目的ではなく、ときには背中を押す才能を見つける場でもあるべきだと私は思います。例えばシヨパンコンクールに優勝した後は、忙しくて落ち着いて勉強する時間が減ってしまうかもしれませんが、浜コンの優勝者はコンサートツアーも行うけれど、スケジュール的に勉強して成長する余裕があるはず。音楽家は常に学び続けるてはいけません。

若い才能を評価するとき、その後本物の音楽家になるためには多くの要素が備わっていないてはなりません。まず優れたテクニックが必要なのはひとつ。加えて大切なのは、演奏する喜びを感じている



かどうかです。例えば、私はクリスチャンで教会に行きますが、そこで神父が聖書について語るとき、この人物が、読んだことを本当の意味で理解しているか、想像力やカリスマ性があるか、そして、人の心を惹きつける魔法のような力を持っているかは、瞬時にわかるものです。

今回は、みんなが技術的には高い水準で演奏していました。これは昔に比べると大きな進歩です。しかし私が本当に求めているのは、説得力のある音楽ができる人。技術やレパートリーを披露するのではなく、本当に音楽で言いたいことがある人の演奏は、聴きたいと思います。そういう瞬間は、今回のコンクールでもありました。たくさんではありませんけれどね。

アレクサンダー・コ布林

【イーストマン音楽学校ピアノ科助教授・第5回浜コン最高位】

今回審査委員として戻り、嬉しい興奮を感じています。コンクールで過ごす時間のストレスを鮮明に覚えていますから、コンペティター側にいるような気持ちもあります。だからこそ、演奏を聴いて結果を出すことに責任を感じます。

優勝者、1次を通過できなかった方、全てのコンペティターに共通して伝えたいことは、「コンクールの結果は、基本的には重要ではない」ということです。ここで作る結果は、審査委員が聴いて感じたことを、平均的にならして決定されたことでしかありません。同じものを聴いても、各人の感想は異なります。結果が良くなければ落ち込むと思いますが、コンクールが人生を変えるものだと思うまいほうがいいと思います。

私が求めているのは、「自分自身よりも音楽のほうを愛している演奏家」です。腕を高く振りあげた



り、まるでニルヴァーナに入っているような感じで体を動かしたりする演奏家には関心がありません。私は音楽で、心に触れられたいし、泣きたいし、笑いたい。作品や作曲家の世界に連れて行かれたいのです。歴史上の偉大な演奏家を聴いていると、誰の演奏かということが表に出てきません。例えばルービンシュタインの演奏を聴いていると、これはルービンシュタインだ！という気持ちは自然となくなり、純粹に音楽にひたって楽しむことになる。それは、彼らが自分たちのエゴをよそに追いやって音楽を奏でているからです。そういう演奏家は、素晴らしいですね。

ポール・ヒューズ

【BBC 交響楽団ゼネラル・マネージャー】

浜松コンクールの印象ですか？信じられないくらい良い運営で、食事最高です（笑）。また、1次から参加者の技術的な水準もすばらしかったです。私はいろいろなコンクールの審査委員をしています。浜松は聴衆のレベルがとても高く、注意深く演奏を聴いていることに本当に驚きました。そのおかげで、コンクールではなくコンサートのような感覚になりました。これはとても珍しいことです。

私がこのコンクールで見つけたいと思っているのは、コミュニケーションができるピアニストです。私はピアニストの審査委員たちよりも、より広い視野を持っているかもしれません。ミスタッチや技術的なことに重きはおいていません。一番大切だと考え



ているのは、彼らが私に音楽的に語りかけてくるかどうか。興味深いレパートリーを持ち、良いプログラムを組めるピアニストは高く評価します。ある人は、ステージに出て演奏しても、音楽を会場のはじめまで飛ばすだけで終わってしまう。一方で一部の人は、その音楽で聴衆全員とコミュニケーションしています。私にとっては、そういう人がおもしろい音楽家なのです。

公式ライターが見つめた2週間 ～過去最大の注目のなかで発掘された、類い稀な才能～

過去最大の注目を集める中での開催となったといえる、第10回浜松国際ピアノコンクール。回を重ねた成果に加えて、浜松コンクールをモデルとした恩田陸さんの小説「蜜蜂と遠雷」の人気の影響もあって、本選や週末の予選の前売りチケットは早々に完売。さらに平日の予選も1次から連日完売という状況となった。

ここ15年ほど世界の大コンクールをいくつも取材してきたが、1次、しかも平日でこれほど客席が埋まっているコンクールは、他に見たことがない。各国の参加者も、1次からこんな環境で弾くのは初めてで、集中して耳を傾けるすばらしい聴衆を前に、コンクールだということを忘れて楽しめたと口々に

語っていた。

そんな中、88名の参加者は、浜松の会場内はもちろん、インターネットで視聴する世界の聴衆に音楽を届けた。入賞を果たせなかった参加者の演奏にも、いくつもの印象に残る瞬間があった。これをきっかけに、演奏会があれば聴きに行こうというファンを獲得したピアニストもたくさんいただろう。

本選に進出した6人は、それぞれの信念をもって誠実にピアノに向き合うピアニストばかりだった。偶然にも4人が日本人、うち2人が地元静岡県出身だったことで、地元メディアの注目度が高く、それも今回の盛況を助長していた。

頂点に輝いたジャン・チャクムルさんは、その演奏から、作品を通して言いたいことが溢れんばかりに伝わってくるピアニスト。アンサンブル能力も高く、小川典子審査委員長から「エクセptional・タレント」と評された。第2位となった牛田智大さんは、すでに盛んに演奏活動を行うピアニストだが、そのプレッシャーを乗り越え、完成度が高く叙情豊かな音楽を客席に届けていた。妥協せず、本物のピアニストとしての道を歩みたいという願いを、今回の挑戦でまた一歩先に進めたといえるだろう。そして第3位のイ・ヒョクさんは、選曲のセンスといい音楽表現といい今の時代を感じさせる若者で、新鮮な音で聴衆を魅了した。

これまでの浜松コンクールは、優勝者がその後他の大コンクールに優勝してさらなる飛躍を遂げることで評価を高めてきたところがある。そんな中、小川審査委員長は、そろそろ浜松から直接世界にピアニストを送りこむ時期が来ていると話し、BBC交響楽団のディレクターを審査委員に招いたり、また海外のレコード会社のゲストを呼んだりすることで、若者が世界に出るきっかけとなる出会いを多く用意した。こうした試みがどんな成果となって現れるか、また新しく誕生した優勝者がこの後どう世界で活躍するのか、コンクールが終わった今も、見守る楽しみは尽きない。

公式ライター 高坂はる香





Okura
ACT CITY HOTEL
HAMAMATSU

オークラアクティシティホテル浜松

OKURA ACT CITY HOTEL HAMAMATSU



※写真はイメージです。
※表示価格はすべて税金・サービス料を含む金額です。

オークラアクティシティホテル浜松31階 和食堂「山里」では、冬の味覚の王様“ふぐ”を使った「天然とらふぐづくし会席」をランチとディナーそれぞれにてご用意しております。使用しているふぐは全て遠州灘で獲れた「天然とらふぐ」。養殖とは違い味が濃く、しっかりとした歯ごたえが感じられます。

ランチ (7,000円) では、旨味を閉じ込めた“ふぐ煮凍り”から始まり、ふぐ料理では外せない“河豚刺し”や“焼白子”をお召し上がりいただけます。メインのお料理は“焼き河豚”または“河豚唐揚げ”からお選びいただくことができ、ふぐのお料理は全5品となっております。

ディナー (14,000円) では、ランチのメニューに加え“河豚鍋”等をご用意します。河豚の旨味が広がるアツアツの出汁で、ふっくらとした河豚やお野菜をお楽しみください。「天然とらふぐ会席」は、数量限定のため予めご予約いただくことをおすすめいたします。この時季ならではの味を存分にご堪能ください。



和食堂「山里」

浜松市中区板屋町111-2 オークラアクティシティホテル浜松31階
【営業時間】 ランチ 11:30 ~ 14:00 (土・日・祝 11:30 ~ 14:30)
ディナー 17:30 ~ 21:00
【ご予約・お問い合わせ】 予約センター (9:00 ~ 20:00)
TEL.053-458-1233



HOTEL CROWN PALAIS
HAMAMATSU

ホテルクラウンパレス浜松

HOTEL CROWN PALAIS HAMAMATSU



花暦 LUNCH お1人様 2,700円(税込) DINNER お1人様 3,200円(税込)
※ディナーは火~木曜日限定(祝日は除く)

※写真はイメージです。

JR浜松駅前のホテルクラウンパレス浜松、2階日本料理「四季」の一番人気メニューは花暦(はなごよみ)。段々に盛り付けられた料理は美しく、目でも楽しむことができます。家ではなかなか用意できない、一口ずつたくさんの料理が味わえると好評をいただいております。季節に合わせた旬の食材を上品な味付けでお召し上がりいただけます。

毎週木曜日のランチはハッピーデー。花暦が15%OFFとなります。人気があり席数が限られますので、ご来店の際は予約をお願い致します。



日本料理 四季

浜松市中区板屋町110-17 ホテルクラウンパレス浜松2階 TEL.053-452-4651
【営業時間】 ランチ/11:30 ~ 14:30 (ラストオーダー 14:00)
ディナー/17:30 ~ 21:30 (ラストオーダー 20:30)
【定休日】 毎週月曜日 ※祝祭日は営業致します。



日時 2018年11月20日[火]
11:20 ~ 12:00

会場 浜松市立曳馬小学校
(浜松市中区)

演奏 アナ・ゴガワさん(ジョージア)

浜コンでは、市内で10か所のスクールコンサート、13か所のシティコンサート、12か所のホームコンサートが開催され、多くの市民の皆さんにコンペティターたちによる素晴らしい演奏を楽しんでいただきました。

取材・文／音楽ジャーナリスト 森岡 葉

コンクール期間中、市内各地の学校で出場者によるスクールコンサートが開催されました。

この日は、曳馬小学校の全校児童757名の前でアナ・ゴガワさんが演奏を披露しました。

ジョージア出身のアナ・ゴガワさん。7年前からロンドンのギルドホール音楽演劇学校で学び、コンクールに参加する少し前に修士課程を修了したそうです。今後はロンドンを拠点に演奏活動を続けたいと抱負を語ってくれました。



午前10時、曳馬小学校に到着したゴガワさん。笑顔が素敵です。



学校到着後、校長室へ。クラリネット奏者でもある美和雅樹校長は、大のクラシック音楽ファン。「この曲大好きで、iPhoneに入れていつも聴いているんですよ」と、ゴガワさんが演奏する曲目について話が弾みました。

体育館に集まった全校生徒の前で演奏するゴガワさん。曲目はスカルラッティ《ピアノ・ソナタ 二短調》、モーツァルト《ピアノ・ソナタ第8番》、シューベルト《即興曲》。最前列に座った低学年の子どもたちも熱心に聴き入っていました。コンサートの最後には、ゴガワさんの伴奏で校歌を歌いました。



児童の感想

モーツァルトのソナタの第2楽章のトリルがとてもなめらかできれいでした。生の演奏を聴くことができてよかったです。



コンサートの後、6年2組の子どもたちと給食の時間を楽しんだゴガワさん。「1日に何時間練習しますか?」「何歳からピアノを始めましたか?」などの質問に笑顔で答えていました。なかには、英語で話しかける子も!



ゴガワさんの感想

子どもたちが真剣に私の演奏を聴いてくれて、感激しました。このコンサートの思い出は、一生忘れないでしょう。とても幸せなひとときでした。



階段で出会った2年生の女の子たちに「ありがとう」と言われ、握手をするゴガワさん。

校長先生のコメント

クラシック音楽の素晴らしさを子どもたちに伝えることができてうれしく思っています。子どもたちにとっても、よい思い出になるでしょう。



日時 2018年11月22日[木]
10:00 ~ 11:00

会場 ホストファミリー
鈴木さん宅(浜松市東区)

演奏 アントニウ・ナギさん(ルーマニア)
田母神夕南さん(日本)

市民がコンペティターたちを温かくサポートしている浜松国際ピアノコンクール。
今回初めてホストファミリーとなった鈴木さん宅に伺い、ホームコンサートとコンペティター
たちがお礼の気持ちを込めて作ったディナーの様子取材しました。取材・文／音楽ジャーナリスト 森岡 葉

鈴木さん宅にホームステイしたのは、日本人のコンペティター、田母神夕南さんとルーマニア出身のアントニウ・ナギさん。11月22日午前開催されたホームコンサートには、ピアノ教師の鈴木厚子さんの友人15名ほどが集まりました。田母神さんは、ショパン《エチュード作品10-1》、ストラヴィンスキー/G.アゴ스티《火の鳥》、リスト《ノルマの回想》、ナギさんはリスト《ピアノ・ソナタ短調》を演奏。大きな拍手に答えてアンコール曲もそれぞれ披露してくれました。圧倒的なテクニックとドラマ性に満ちた演奏を間近で聴いた方たちから、「奏者の息づかいが感じられる迫力に満ちた演奏を聴いて感動した」「それぞれ違う個性、それがどのように

開花していくか楽しみ」などの感想が語られました。その日の夜は、楽しかったホームステイの日々に感謝して田母神さんとナギさんがディナーを準備。髭面、メガネのナギさん、大人っぽく見えますが、実は17歳の高校2年生。24歳の田母神さんとは姉と弟のようです。



子ども時代をイタリアで過ごしたナギさんと、現在ローマで学んでいる田母神さんが作ったのは、カプレーゼとスパゲッティ・カルボナラ。そしてナギさんのママのレシピの林檎ケーキ。未成年のナギさんはジュースで乾杯！



学校や保育園でも演奏を披露した2人。ホストファミリーと一緒に京都観光も楽しみ、充実した浜松滞在を終えました。

「子どもか孫のような2人がいなくなるのは寂しい」と鈴木さんご夫妻。4月に彼らのコンサートを浜松で開催したいと企画しているそうです。

CITY CONCERT

シティコンサート



日時 2018年11月18日◎ 14:00～／15:00～ (各回30分)

会場 遠鉄百貨店3F「イ・コイ スクエア」(浜松市中区)

演奏 フィリップ・ショイヒヤーさん(オーストリア)

浜松国際ピアノコンクールでは、第1次予選終了後から、惜しくも次のラウンドに進めなかったコンペティターのためにさまざまな演奏の機会を用意しています。浜松駅前の遠鉄百貨店で開催されたシティコンサートに出演したのは、オーストリア出身のピアニスト、フィリップ・ショイヒヤーさん。14時～と15時～、各30分のコンサートで、ヨーロッパの香を感じさせるダイナミックでエレガントな演奏を聴かせてくれました。取材・文／音楽ジャーナリスト 森岡 葉



2015年のコンクールにも参加したショイヒヤーさんにはファンが多く、この日も開演前から多くのお客様が並んで席を取り、演奏が始まると立ち見のお客様が出るほど大盛況でした。1回目のコンサートのプログラムは、第1次予選で演奏し、大きな話題を呼んだベートーヴェン《幻想曲》、モーツァルト《ピアノ・ソナタ第11番「トルコ行進曲付き」》、そして2回目のコンサートでは、ムソルグスキー《展覧会の絵》を聴かせてくれました。色彩豊かな音色がフロアいっぱいに広がり、買い物途中のお客様も足を止めて聴き入っていました。

お客様の声

初めて聴く曲ばかりでしたが、スケールの大きな演奏に圧倒されました。ショイヒヤーさんのような演奏ができるようになりました。コンクールには、3回くらい行きます。

甲斐吉祥さん
(小学6年生)

《展覧会の絵》は大好きな曲なので、聴くことができてうれしかったです。コンクールの1次、2次の演奏も聴き、ぜひコンサート聴きたいと思いました。このような機会をつくっていただいて感謝しています。

村越道代さん

前回もホームステイ先として彼と一緒に過ごしました。3次予選に進めず残念でしたが、家族と一緒に美味しいものを食べたり、いろいろなところに出かけ、残りの滞在を楽しんでいただきたいと思います。

武田裕子さん
(ホストファミリー)

1次予選のストリーミング配信を聴いて、リスト《マゼッパ》が素晴らしいので、1歳の子を預けて2次の演奏を聴きに行き、堪能させていただきました。浜コンには15年来通っています。

金原麻美さん



ショイヒヤーさんのコメント

リラックスした気分音楽を楽しみながら演奏しました。多くの聴衆の方が僕の演奏を熱心に聴いてくださり、幸せです。次のラウンドに進めず残念でしたが、これからも誠実に自分の音楽を追求していきたいです。

※シティコンサートは市内13か所で開催されました。株式会社遠鉄百貨店様、ローランド株式会社様、イオンモール浜松市野橋、オークラクトシティホテル浜松様ほか多くの企業、団体の皆様にご協力いただきました。誠にありがとうございました。

THE 10th HAMAMATSU INTERNATIONAL PIANO COMPETITION コンクールを創る人



ホストファミリーさんとのマッチングをサポート

「市民ボランティアの皆さん」01

審査委員、出場者アテンド、ホールスタッフなどに分かれて活動を行うボランティアさんはコンクール運営には欠かせない存在。今回も100人を超える方々にお手伝いいただきました。リーダーを務めてくださった佐藤さんにお話を聞きました。

ボランティアリーダー
VOLUNTEER LEADER

佐藤康代さん

元々ボランティアに興味があり、特に語学を使った国際イベントのお手伝いをしたくて第4回の頃に応募してから、毎回参加しています。大学卒業後、スペインの歴史に興味があって1年留学していました。結婚・出産を経て少し生活が落ち着いた頃、浜松国際交流協会のボランティアスタッフに参加し、このコンクールのお話を聞いてやってみたいと思ったんです。

一流の方たちと接することができるのが一番の醍醐味。コンクール中は皆さん緊張しているので、話し

かけすぎないように注意して接しています。

出場者アテンドでお世話した方が勝ち進んでいくのを見るとすごく嬉しいし、逆に次に進めなかったときは自分のことのように残念に思います。

実は、前回出場者のある方と今もSNSで連絡を取り合っています。スクールコンサートのアテンドとして同行した時、彼らもコンクールの

時よりリラックスしていて、長い時間一緒にいるので、より一層仲良くなることもあります。お仕事の他にも、ボランティアさん同士が仲良くなって、コンクール後も連絡をとりあったり、「また3年後ね！」と約束して別れたりと交流が続いています。

今回初めてリーダーとして動いてみて、ボランティアの皆さんが気軽に相談できる存在にならなくてはいけないと実感しています。予選が進み、慣れてきたと思ったらコンクールももう終盤なのですが(笑)。第10回は本当に盛り上がり、ボランティアの存在も知られるようになったのは良いことです。みんなが音楽を楽しむ「音楽のまち」になったと感じますし、3年後、6年後もますます盛況であることを願っています。お客様には、会場やライブ配信で聴いたり、出場者を応援したり、またボランティアに参加したりと、これからもコンクールに関わって楽しんでほしいです。



事務局に訪れたジャン・チャクムルさんと。

THE 10th HAMAMATSU INTERNATIONAL PIANO COMPETITION コンクールを創る人



「市民ボランティアの皆さん」02

タイム・キーパーや審査委員対応の補助を担当する審査委員アテンド。今回初めて参加した塚本さんにお話を聞きました。

審査委員アテンド
SUPPORTING JURY MEMBERS

塚本容子さん

初ボランティア



浜松市に移り住んで15年目。駅前のポスターなどでピアノコンクールやアカデミー、中村紘子先生のことなどを目にしていたか聴きに行ってみたくて思っていました。

ピアノ講師の仕事、子育てなどが落ち着いたとき、ボランティア募集があることを知りました。もともと裏方の仕事も好きだったので、少しでもお手伝いできればと思い応募しました。

著名な先生の近くでお手伝いできるのはなかなか無い経験で、小川審査委員長が重責を背負いながらも愛情を持っていらっしゃるのが伝わってきます。3年に1度の国際コンクールですから、若いピアニストの世界観を感じに多くの方に足を運んでいただきたいですね。

「様々なボランティアスタッフの活躍」

他にも、開場前の列整理やホール受付でのチケットテイク、ドア保安係を担当するホール案内スタッフ、出場者登録や練習室までの出場者誘導、外国語対応全般を担当する出場者アテンドスタッフ、日英2カ国語での場内アナウンスを担当するスタッフなどに分かれてボランティア活動をしていただきました。

ホール案内スタッフ



開場直前のミーティングで引き継ぎ事項を確認します。

出場者アテンドスタッフ



出場者が続々と登録に訪れる数日、事務局は大忙しです。

場内アナウンススタッフ



暗い舞台袖でひとり、緊張の面持ちでマイクに向かいます。



市民ロビーに並ぶお客様の列整理は欠かせません。

THE 10th HAMAMATSU INTERNATIONAL PIANO COMPETITION コンクールを創る人

〔静岡県華道連盟西部会の皆さん〕

中ホール、大ホールのロビーには、静岡県華道連盟西部会の皆さんによる生け花の装飾を数日ごとに入れ替えて展示。「和」の心でお客様をお迎えしました。

お話を伺いました！

小原流支部長

渥美豊隆さん

講師

戸田三知代さん

中ホールのロビー装飾も含めると今回が4度目になります。飾る場所が通路なので、通行を妨げないよう配慮したうえでデザインを考えました。ポイントは、小原流の琳派調をよりどころにして並列に生けているところです。今回は晩秋を意識して、黄、赤、ベージュ、茶色系で落ち着いた色合いにまとめました。世界中の方に注目されているピアノコンクールですので、自然のお花を素材にした「和」の装飾を、皆さんに見てもらえたら嬉しいですね。



THE 10th HAMAMATSU INTERNATIONAL PIANO COMPETITION コンクールを創る人

〔調律師〕

ピアノ調律は、コンペティターたちが最も大切にしている要素。各メーカーの調律師は、コンペティターたちが常に良い状態のピアノで演奏できるよう、ホールはもちろん各練習室に入れられた数十台のピアノを調整します。その時間帯は練習時間を避けて行うため、連日早朝から深夜にまで及びました。



来場者コメント & 聴衆賞

浜コンでは、本選の2日間、どのファイナリストの演奏が最も良かったかをお客様に投票して選んでいただく「聴衆賞」を設けていました。2日間、本選にご来場いただいたお客様に感想を聞いてみました。

おふたりに聞きました！

まどかさん
(高校1年生)

黒崎 裕子さん

Q ズバリ！だれに投票しましたか？

裕子さん 務川慧悟さん。プロコフィエフ独特の物語性のある音楽を、語りかけるようなピアノで表現していて、イメージーションが広がる演奏だったから。

まどかさん イ・ヒョクさん。ラフマニノフの3番は好きな曲。今までに聴いた何人かの演奏とはまた違う、透明感のある音色で、表情がとても豊かだったから。

Q 浜コンの魅力は？

裕子さん 世界中から集まる若いピアニストの演奏を聴けること。特に今回は、予選の課題曲にコンペティターが自由に選ぶ余地があったり、邦人作曲家の新作や室内楽が課題にあったりして、個性豊かなリサイタルを聴いているようでした。今回は予選からチケットが完売し（これは嬉しい悲鳴ですね）、ネット配信がとても有難く感じました。特に真上からの映像は会場では絶対に見られないので、会場で

聴いた後、ネットでもう一度見たりと何度も楽しみました。演奏後のインタビュー動画も、コンペティターの素顔や生の声が聞けて面白かったです。

まどかさん 地元浜松で国際ピアノコンクールがあるということがすごいと思います。小学生の頃から来ていますが、特に本選では、ピアノとオーケストラが本物の音楽を作っていく瞬間を聴くことができ、毎回感動します。外国のコンペティターはその国独特の雰囲気やちょっとした仕草や演奏にも出ているので、そんな一面を見られるのも面白いです。気に入った人のCDを買ったり、コンクール後もリサイタルに行ったりと、終わった後もずっと楽しめます。

Q これからの浜コンに期待することは？

裕子さん 一人ひとりの力が充分に発揮できるコンクールであり続けてほしいです。そのためには、コンクールを支える原動力にもなる聴衆を育てることが大切だと思います。私はかつて、静かに聞いていられるかドキドキしながら当時小学生だった娘を連れて行ったのですが、じっと聴き入っている娘を見て、「人を魅了する「本物の音楽」に年齢は関係ないな」と実感しています。今回、本選ではご家族そろって来場されている姿を何組か見かけて、嬉しくなりました。たくさんの方々が「本物の音楽」に触れ、やがてコンクールを支える聴衆になっていけるといいなあと思います。



第10回浜松国際ピアノコンクールは、大盛況のうちに終了いたしました。ご支援、ご協力いただきましたすべての皆様に厚く御礼申し上げます。次回、第11回のコンクールは2021年11月の開催となります。3年後、新たなヒーロー・ヒロインが生まれる瞬間を、ぜひ楽しみにしててくださいね！

(各館つれづれ便り)

INFORMATION FROM EACH FACILITY

》浜北文化センターから

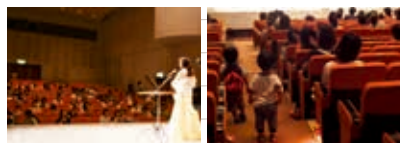
担当：長谷川



冬の浜北文化センターは3つの記念事業が控えています。2月3日(日)第10回浜松市民バンドフェスティバル、23日(土)第35回浜北寄席、3月2日(土)10周年記念のゆるやかコンサートと、いずれも区切りの回数事業となります。

なかでも「ゆるやかコンサート」は10年前に保育園に子どもを預けて職場復帰したスタッフの意見を元に企画しました。初めての開催にあたり、赤ちゃんと一緒に行くことができるというコンセプトの需要が分からず、第1回は少人数のリハーサル室(定員40名)で開催する予定でした。どれくらいの反響があるか心配しながら受付初日を迎えたところ、次から次に電話が鳴り続けて…。嬉しい悲鳴で、急遽

会場を小ホールに変更した事も今では良い思い出です。それから10年間、春夏秋冬と開催回数は述べ40回を数える人気イベントとなりました。10周年記念コンサートでは、内容を変えて午前と午後の2回開催します。お子さんが大きくなってしまってもう一緒に来てくれないわ、とお嘆きでしたら、大人のみでも構いません。小さなお子様の声に包まれながらのコンサート、皆様のお越しをお待ちしています。



》クリエート浜松から

担当：佐伯



クリエート浜松では冬に2大イベントがあります。1つ目は「クリエートの冬まつり」。クリエートで活動する文化団体や地域自治体との協力のもとで開催されます。歌や楽器演奏の成果発表、絵画や手芸などの作品発表があり、様々なジャンルで活動される方が一堂に会します。毎年参加の方からは秋口から「今年はどんな感じ?」とお問合せいただくこともあり、参加者様方の気合いをひしひしと感じています。

今年は新たなステージも企画中ですので、楽しみにお待ちください!

2つ目は「はままつグローバルフェア」。こちらも歌やダンスはもちろん、各国の料理を堪能したり、実際に国際交流を楽しんだりできます。一日では回り切れないほど多くのブースがあり、世界各地のホットな情報が得られますよ。

冬のクリエートにもぜひお越しください! スタッフ一同、お待ちしております!



冬まつり

グローバルフェア

市内各地の文化施設から、旬のイベントやスタッフのお勧め情報をご紹介します。

》アクトシティ浜松から

担当：中村



アクトの「なるほど!」を探検してみよう③

寒さが厳しい季節になりました。ここ浜松市は「遠州のからっ風」が強く、実際の気温より体感温度が低く感じます。高さ212.77m、地上部重量10.8万トンのアクトタワーの天敵はこの強風です。強風の影響を避け揺れから守るために、アクトタワーは独特の丸みを帯びたデザインになりました。この丸みを帯びた外壁が強風の直撃を分散しています。「音楽の都 浜松」にふさわしい、ハーモニカにも見えるこのデザインにはこんな秘密がありました。

写真はショパン像とアクトタワーです。アクト

にはショパン像の他にもたくさんのアートワークがあります。モニュメント、彫刻、立体造形などなど。広いアクトを散歩しながら探してみよう。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.actcity.jp/about/artwork.php>



》天竜壬生ホールから

担当：山崎

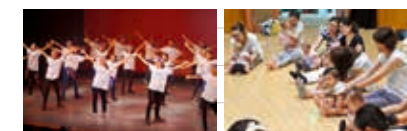


当館では、16年前の開館当初から、小中学生対象の「MIBU ワークショップ」事業を行っています。通年で舞台芸術のワークショップを行い、12月に発表会を開催するもので、現在はミュージカルとモダンダンスの2クラスに、150名の子供達が元気いっぱい参加してくれています。

また、昨年度からは、浜北文化センターで好評の子育て支援企画「ゆるやかコンサート & ワークショップ」を天竜バージョンとしてスタートしました。赤ちゃんと一緒に参加できるイベントで、MIBU ワークショップより

もぐっと下の世代の子供達にご参加いただいています。

ホールで綺麗な音色を聴いたり、舞台上で体いっぱい表現したり…子供達にも壬生ホールで素敵な体験をしてもらえたら嬉しいです。また、屋外には自然豊かな芝生広場もありますから、ぜひ遊んでいただいね!



MIBU ワークショップ

ゆるやかワークショップ



浜松文芸館

のんびり
ゆつくり
みゅーじあむ

vol.20

浜松の文芸人はすごい方ばかり！

浜松文芸館 館長 下石精子



相生垣瓜人の俳句

昭和63年4月27日、鹿谷の地に「遠州の文学の殿堂」として産声を上げた「浜松文芸館」。現在に至るまで30年の歴史を刻んできました。この夏、「浜松文芸館30年の歩み～ココロとことばの軌跡」展を開催しました。展示室内をぐりと見渡していたら、なんと、「相生垣瓜人」と目があってしまいました！そこで思い出したのが、『荒海の秋刀魚を焼けば火も荒ぶ』という俳句。今年は美味しい秋刀魚をほどよい値段で食した私たちです。瓜人翁も、荒海を乗り越えてやってきた秋刀魚を七輪で焼いていたのでしょうか。燃えさかる火の中で焼かれる秋刀魚の気持ちをとらえて作った俳句。情景が目には浮かびます。

こうして展示室を彩る文芸人の方々の眺めていると、「浜松にはすごい文芸人の方々がたくさんいる！」ということに改めて気づきます。かくいうこの私、本館に赴任するまで、「浜松文芸十人の先駆者」たる方々の名前も、あまり存じ上げませんでした。遅まきながら、今、文芸人の作品を読み、資料の数々に触れ、こんな境地に至っている

ところ。例えば、藤枝静男という作家を皆さんは知っていますか？東田町にある菅原眼科の院長先生、というと分かるでしょうか。昨年、特別収蔵展「藤枝静男生誕110年」をご覧になった方が、『先生に診察してもらったが、まさか作家であるとは知らなかった。早速本を読んでみる』と言っていました。彼は、芥川賞候補に3回上がった全国に熱烈なファンをもつ作家なのです。その作風は少々難解(?)ですが、深く面白！単なる私小説の枠にはおさまらない作品の数々を生み出してきました。「私小説を超えた私の求道者」こんな呼称がついている藤枝静男のお勧め作品は、『悲しいだけ』野間文芸賞受賞。私は『一家団圓』が心に残っています。好みはともかく、一度手に取ってはどうでしょうか。一冊の本との出会いがあなたの世界を変えるかもしれません。



藤枝静男『悲しいだけ』



菅沼五十一『遠州文学散歩』



お勧めといえば、もう一冊、ぜひ皆さんに紹介したい本があります。浜松ゆかりの文芸人、菅沼五十一(詩人)の著書『遠州文学散歩』です。万葉集から小説まで、様々な作品の中に描かれた遠州地方を取り上げ、作品や作家、描かれた土地の紹介だけでなく、菅沼氏の鋭い寸評と著者が写した写真入りの本です。目次の幾つかをあげてみましょう。『池田界わい・森鷗外・渋江抽斎』『高町の半僧坊・鷹野つぎ・四季と子供』『森田の踏切・松本清張・黒い樹海』他にも中田島、いなさ細江、小夜の中山等全部で84章からなるこの本を読めば、遠州の文学についてかなり知ることができます。本館でも販売中ですので、興味のある方は事務室にお立ち寄りください。

なにやら、亡くなっている方々の押し売りのようになってしまいましたが、浜松文芸館では現在活躍中の皆さんも紹介しています。『らせん』『リング』で新たな小説の世界を切り開いた鈴木光司。同姓同名の絵本作家スズキコージの展示会は既に2度開催。大好評を博しました。また、浜松市出身の絵本作家に、現在活躍中の鈴木りたけ氏という方がおられます。著書に『しごとば』シリーズ『かわ』『ぼくのトイレ』など子供も大人も楽しんで学べる絵本を多く出しています。本館で今後、子供たちに夢や希望を届ける絵本展を開催できたらいいと思います。ちなみに、鈴木りたけ氏は浜松市立伊佐見小の卒業生で、同郷に清水みのるという作詞家があります。清水みのるもまた浜松出身の偉大

なる文芸人の一人です。名前は知らなくても、あのコトコトコトン、「森の水車」の歌は口ずさんだことがあるのでは。まだまだあの人もこの人も、紹介したい思いに駆られます。

最後に、嵐山光三郎氏(作家)をお招きした開館30周年記念講演会(11/10)の報告をしてペンをおきたいと思います。演題「私の浜松」の中で語られたエピソード満載の話を、会場の皆様はうなずいたり時に笑いが出たりと、和やかな雰囲気になった講演会でした。嵐山氏が中野町のじいちゃんの家にあった池を題材に詠んだ一句『ふるさとの池の匂いや蓮の花』には、浜松を想う先生のお気持ちがしみじみと込められているようでした。浜松ゆかりの作家、嵐山先生の益々の御活躍を祈念いたします。



文芸なんてよく分からん！文学なんてなんの足しにもならん！そう言わずに思わずに、クリエート浜松に来たついでにちょっと5階の浜松文芸館に寄ってみませんか。

浜松文芸館

【開館時間】 9:00-17:00
【休館日】 年末年始(12月29日から翌年の1月3日)
【観覧料】 入館無料
TEL/FAX.053-453-3933
<http://www.hcf.or.jp/facilities/bungei.html>



ステーキフリット (220g) 1,680円 (税抜)。 ※フリットとは揚げ焼きのこと。



オマール海老 1,680円 (税抜)。12月からの期間限定なのでお見逃しなく!!

ビストロ ロケット

2018年6月にオープンしたばかりの「ビストロ ロケット」は、美味しい国産ワインと肉料理が楽しめるお店です。日本のワインに力を入れ、長野の「ポタノワイナリー」、小布施ワイナリー「城戸ワイナリー」、山梨の「ポーベイサージュ」、旭洋酒、5つのワイナリーをメインに扱っています。その他にも、クラフトビール、焼酎(芋・麦)、ウイスキーをいただけます。日本のワインを知って気軽に楽しんでもらいたいという思いから、「日本のワインのみくらベセット」1,800円 (税抜) や「日替わりグラスワイン」を提供。メインメニューの肉料理のほか、愛知県・伊良湖や地元・舞阪などであがった地元産の魚料理も楽しめます。

店内は白を基調にしており、カジュアルな中にも木のテーブルや椅子で落ち着いた居心地の良い大人の雰囲気。そんな素敵な空間でゆっくりとお食事とワインを楽しめそう。お気に入りの日本ワインに出会えることを期待して、訪れてみたいお店です。



店長の和田賢仁さん

ポタノワイナリーでのお手伝いがご縁で、今ではお店のスタッフも連れてワイナリーのお手伝いを続けている和田さん。人との出会いを大切にされていらっしゃるようです。休日には、お子さんと近くの公園で釣りを楽しむのが日課だと、素敵な笑顔で語ってくださいました。



ビストロ ロケット

浜松市中区肴町 313-12
TEL.053-453-4888

【営業時間】
火～日 18:00～24:00

【定休日】
月曜日

串カツ くまた

2017年11月にオープンした「串カツくまた」。遠州鉄道第一通り駅からすぐの立地で、仕事帰りの常連さんでにぎわっています。店主の熊谷さんは学生時代を大阪で過ごし、浜松でも串カツを食べてもらいたい、とお店を開いたとのこと。串カツにつけるソースは自家製。フルーツを使っていて甘みがありつつさっぱりとした味わいで、思わずたくさん食べてしまいそう。串カツのソースは「二度つけ禁止!」がルールです。

串カツは100円 (税抜) からとリーズナブルに楽しめます。定番の野菜串や海鮮串をはじめ、「浜名湖産うなぎのかば焼き」を串カツにした珍しいメニューや、お客様のリクエストを取り入れた「ミニトマトチーズ」なども人気です。12月のおすすめは期間限定「オマール海老」1,680円 (税抜)。ちょっと贅沢な一品です。

ドリンクはビールや焼酎はもちろん、ホッピーやバيسサワーも人気です。串カツと合うお酒を探すのも楽しいですね。お仕事帰りや二次会に、ふらっと立ち寄れば笑顔が素敵な熊谷さんが迎えてくれますよ。



店主の熊谷 聖さん

友人とお酒を飲んだり、釣りに出かけたりしていた独身時代ですが、ご結婚されてからはお休みは家族で過ごすという熊谷さん。6カ月の娘さんと動物園に行ったりするそうです。友人の結婚式では会場で串カツを揚げ、ゲストにふるまったところ、用意してあった300本があったという間に売り切れ。友人の方も喜んでいました。



串カツ くまた

浜松市中区板屋町 102-17
TEL.053-454-7727

【営業時間】
月～土 17:00～23:00 (L.O.22:00)

【定休日】
日曜日 (翌月曜日が祝日の場合は営業し、月曜日が休み)

(公財)浜松市文化振興財団

イベントスケジュール

2019.1 ▶ 2019.4

HCFオンラインショップ
http://www.hcf.or.jp/

HCFオンラインショップをぜひご利用ください。
様々な公演のチケットが、24時間オンラインで購入できます。

- ★システム利用料0円・券手数料0円
 - ★送料などの実費はかかりますが、その他の手数料は一切なし。
 - ★クレジット決済 / 送料450円(全国一律)
 - ★代金引換 / 送料450円+代引手数料(実費)
 - ★スマートフォン・タブレットからもアクセスできます。
 - ★直接アクトシティチケットセンター窓口で購入(現金のみ)もできます。
- 詳しくはHPをご覧ください。http://hcf.or.jp/

ブラハ国立劇場オペラ 「フィガロの結婚」

1.17(木) 18:30

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:
SS席14,000円 S席12,000円
A席10,000円 B席8,000円
C席6,000円 学生席1,500円(24歳以下・当日指定)
- ※未就学児の入場不可
- 楽チケット / コンサート・ドアーズ
TEL.050-5817-9070(平日10:00~17:00)
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 



レクチャーコンサート 「田園の愉しみ」

～18世紀フランス宮廷のバグパイプ“ミュゼット”～

1.23(水) 19:00

- 楽器博物館 天空ホール
- 全席自由: 一般2,500円
学生1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 出演: 上尾直毅(ミュゼット)ほか
- 楽器博物館
TEL.053-451-1128



クリエートの冬まつり

1.26(土) 11:00~16:00 1.27(日) 10:00~16:00

- クリエート浜松
- 入場無料
- クリエート浜松利用団体の日頃の練習・活動の成果発表の場として演芸・展示の発表会を開催。ロビーや中庭での飲食物・物品販売、毎年恒例の餅投げもあります。
- ギャラリー展示: 1月25日(金)~27日(日)
- クリエート浜松 TEL.053-453-5311



MIBU New Year Concert 2019 トランペットアンサンブル 「Summer Breeze」と管楽合奏の癒しの饗宴

1.27(日) 14:00~16:00

- 天竜壬生ホール
- 大人1,000円 高校生以下500円
- 出演: 天竜楽友吹奏楽団
京都トランペットグループ「Summer Breeze」
- 指揮: 金村洋輔
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301



オルガンミニコンサートNo.91

1.31(木) 12:30(12:50終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 入場無料 ※小さなお子様も入場できます
- オルガン: 深井李々子
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

第10回浜松市民バンドフェスティバル

2.3(日) 13:00~18:00

- 浜北文化センター 大ホール
- 全席自由: 前売500円 当日700円(小学生以下は無料)
- 社会人を中心に浜松で活動する吹奏楽団体11団体による開催。今年は第10回記念として指揮者を招聘し合同バンドの演奏を実施。
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151

New Artist Series アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.117 北村 陽(チェロ)

2.3(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由: 一般2,500円 学生1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
J.S.バッハ / 無伴奏チェロ組曲 第4番 変ホ長調 BWV1010
ブラームス / チェロ・ソナタ 第2番 ヘ長調 Op.99
ショパン / 序奏と華麗なるボロネーズ Op.3 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 
- 協賛:  HAMANA
浜名館包装株式会社



第9回はまつグローバルフェア

2.10(日) 10:00~17:00

- クリエート浜松
- 入場無料(有料ブースあり)
- 海外のかわいい雑貨やフェアトレードなどのお店、世界のさまざまな料理の出店があります。
- 海外のダンスステージや、留学生とのおしゃべりコーナー、国際理解ワークショップなどもあり、子どもから大人まで五感で世界を体感し、楽しめるイベントです。
- クリエート浜松 TEL.053-453-5311

ステージ演奏体験Vol.6

2.11(月・祝) 10:00~20:30 1枠45分

- 天竜壬生ホール
- 参加費: 1000円
- 天竜壬生ホール
TEL.053-922-3301



浜松市アクトシティ音楽院 主催者育成セミナー 第18期受講生企画コンサート Song ヴァイオリンコンサート

2.16(土) 17:00

- 音楽工房ホール
- 全席自由: 2,000円
- 演奏者: Song
- 文化事業課 TEL.053-451-1150



特別収蔵展「鷹野つぎと浜松」(仮題)

2.18(月)~6.16(日) 9:00~17:00

- 浜松文芸館(クリエート浜松5階)
- 島崎藤村に師事した「自立を謳う女性先覚者」鷹野つぎは現浜松市立高校卒。古きよき浜松の様子が満載の『四季と子供』ほか多数の著書をご紹介します。
- 浜松文芸館 TEL.053-453-3933



(公財)浜松市文化振興財団 イベントスケジュール

第18回こども音楽鑑賞教室 「こんにちはオーケストラ」

2.20(水) 21(木) 10:30/13:30

- アクトシティ浜松 大ホール
- 自由席: 一般500円(2~4階バルコニー席のみ一般開放・販売)
- 浜松市内の全小学5年生がオーケストラの演奏を聴く鑑賞事業
- 指揮: 曾我大介
- 演奏: 浜松フィルハーモニー管弦楽団
- 第1部: 「オーケストラへようこそ」
J. オッフェンバック / 喜歌劇「天国と地獄」序曲より
G. ビゼー / 「カルメン」組曲より
- 第2部: 「オーケストラと一緒に」
林望 作詞 伊藤康英 作曲 / 浜松市歌
E. エルガー / 行進曲「威風堂々」第1番
- 第3部: 「オーケストラを楽しもう」
J. ウィリアムズ / 交響組曲「スターウォーズ」より
B. スメタナ / 連作交響詩「わが祖国」より
外山雄三 / 管弦楽のためのラプソディ
- 文化事業課 TEL.053-451-1150 



アクト・プレミアム・シリーズ2018 ～世界の名演奏家たち～Vol.10 ユリアンナ・アヴデーエワ(ピアノ)

2.21(木) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定: S席6,000円 A席4,500円 B席3,000円
学生B席1,500円(24歳以下)

※未就学児の入場不可

- 曲目: ショパン / 3つのマズルカ Op.59
ショパン / ピアノ・ソナタ 第3番 口短調 Op.58
シューマン / 幻想小曲集 Op.12
シューベルト / 幻想曲 ハ長調 D760「さすらい人」
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 
- 特別協賛: **オリックスグループ**



©Christine Schneider

妊婦とお母さんのための ゆるやかコンサート in 天竜 Vol.4

2.22(金) 10:30~11:20

- 天竜壬生ホール
- 大人1人につき500円
- 出演:
長瀬正典(リコーダー・サクソフォン)
佐々木遥香(ハープ)
小池絃子(ピアノ)
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301



©Tetsuhiko Komi

第35回浜北寄席 立川談春独演会

2.23(土) 14:00

- 浜北文化センター 大ホール
- 全席指定:4,000円
- ※未就学児の入場不可
- 浜北文化センター
- TEL.053-586-5151

ゆるやかコンサート特別編
「10周年記念コンサート」

3.2(土) ①10:30~11:20 ②14:00~14:50

- 浜北文化センター 小ホール
- 全席自由:小学生以上500円(税込)
- ※小学生未満でもお席が必要な場合は有料
- 対象:赤ちゃん及びお子様(小学生以下)をお連れの子育て中の保護者。(おじいちゃん、おばあちゃんも含む。大人のみも参加可能。)
- ※各公演ごとに内容が異なります。
- 出演:田上知穂(ソプラノ)、石川真弓(メゾ・ソプラノ)
平尾憲嗣(テノール)、山村妙子(ヴァイオリン)
渡邊渚(ピアノ)
- 申込:2月7日(木)13:30~
電話または直接浜北文化センターへ
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151

ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松
スプリングコンサート2019

3.10(日) 14:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席自由:500円
- 第1部:ジュニアクワイア浜松
音楽監督・指揮/浅野武
- 第2部:ジュニアオーケストラ浜松
客演指揮/齊藤一郎
- 第3部:ジュニアクワイア浜松・ジュニアオーケストラ浜松合同
- 文化事業課 053-451-1151



かし座「Wonder Shadow」

3.16(土) 14:00

- 天竜壬生ホール
- 全席自由:一般2,000円 高校生以下500円
- 天竜壬生ホール
- TEL.053-922-3301



みぶ遠州の和太鼓2019

3.17(日) 13:00

- 天竜壬生ホール
- 全席自由:一般1,000円 小学生以下500円
- 天竜壬生ホール
- TEL.053-922-3301



レクチャーコンサート

「涙のきらめき〜17世紀ザルツブルク・祈りの宮廷音楽〜」

3.17(日) 18:15

- 楽器博物館 天空ホール
- 全席自由:一般2,500円
学生(24歳以下)1,000円
- ※未就学児の入場不可
- 出演:古楽金管アンサンブル“アンジェリコ”
アンドレア・インギッシャーノ(ホルネット)
杉村智大(ナチュラルトランペット)
宮下宣子(サクバット)ほか
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128



浜松吹奏楽大会2019

3.23(土) 14:00

- 第7回全国中学生交流コンサート
- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:一般1,000円 高校生以下入場無料(要整理券)
- ※未就学児の入場不可
- ※高校生以下整理券はアのみ



3.23(土) 10:00~16:30 ※雨天中止

- プロムナードコンサート
- キタラ(J R浜松駅北口広場)

3.24(日) 10:00

- 第31回全日本高等学校選抜吹奏楽大会
- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席自由:2,800円
- ※未就学児の入場不可
- 文化事業課 053-451-1151



市川海老蔵 古典への誘い

4.11(木) 13:00(未定)

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:一等席 11,000円 二等席 10,000円
三等席 9,000円
- ※未就学児の入場不可
- 静岡新聞社・静岡放送 TEL.054-281-9010
- 文化事業課 TEL.053-451-1114

アクト・ワンコインコンサート2019
長谷川陽子(チェロ)

4.18(木) 11:30

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円(チケットレス)
- ※当日会場入口にて入場料をお支払いください。
- ※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございますので予めご了承ください。
- ※未就学児の入場不可
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©Hideki Shiozawa

五嶋みどり&五嶋龍 オーケストラ・シリーズ
パーヴォ・ヤルヴィ(指揮) 五嶋みどり(ヴァイオリン)
エストニア・フェスティバル管弦楽団

4.25(木) 19:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:S席17,000円 A席14,000円 B席10,000円
C席7,000円 学生席2,000円(24歳以下・当日指定)
- ※未就学児の入場不可
- 予定曲目:
シベリウス/交響詩「フィンランディア」
ベルト/ベンジャミン・ブリティンへの哀悼歌
プロコフィエフ/
ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 Op.19(ヴァイオリン:五嶋みどり)
チャイコフスキー/交響曲 第5番 小短調 Op.64
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©Kaupo Kikkas



©T.Greenfield-Sanders

舞台袖

3年に1度のピアノコンクールが終わりました。出場者の声を取材したり、HPやSNSを通してリアルタイムの情報を伝えたりと、期間中は体も脳内もフル稼働でした。長い時間をかけて準備し、伝えたい魂を音楽に込めてピアノで表現してくれた出場者たちの真摯な姿に心から拍手を贈りたいと思います。事務局やロビー、楽屋、舞台袖で、関係スタッフ全員が浜松成功のために考え、奔走した時間も忘れ難い貴重な財産となりました。

あなたのイベントを応援します!!

サポート事業 (助成金制度)	後援申請
イベントカレンダー 掲載	友の会向け チケット委託販売
チケット委託販売	

▼全ての情報はここから <http://www.hcf.or.jp/>

は ま か る NEO 情報満載! 浜松+文化の今が見える!

アクトシティ浜松友の会
ビバーチェクラブ 会員募集中!!

特典

- ◎電話、インターネットでチケット予約(お席を選ぶことができます)
- ◎一般発売前にチケットの優先販売
- ◎財団の指定公演は、会員お1人様1枚に限りチケット代10%割引
- ◎文化情報誌及び公演チラシの郵送 ほか

お問い合わせ先 TEL.053-451-1115 vivace@actcity.jp

インターネットからも友の会web入会できます
(初年度年会費が10%割引!)

- ◆年会費は一律2,000円(税込)
- ◆電話予約の場合
 - ①アクトシティチケットセンターで受取とお支払い
 - ②ご自宅へ宅配 & 受取の際に宅配業者へお支払い
(送料+代引手数料がかかります)
- ◆HCFオンラインショップ予約の場合
 - ①アクトシティチケットセンターに越えいただき受取とお支払い
 - ②ご自宅へ宅配 & 受取の際に宅配業者へお支払い
(送料+代引手数料がかかります)
 - ③ご自宅へ宅配 & クレジットカード決済(送料がかかります)
- ◆ご予約ごとに受取方法は選べます。

チケット販売場所

- アクトシティチケットセンター
 - HCFオンラインショップ <http://www.hcf.or.jp/>
 - チケットぴあ
- この情報は2018年12月13日現在のものです。都合により日時、金額など変更になる場合もございますのであらかじめご了承ください。



アクトシティ浜松(施設のご予約)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1111 FAX.053-451-1123

アクトシティ浜松(事業のご案内)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1114 FAX.053-451-1123

浜松市アクトシティ音楽院

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1150 FAX.053-451-1123



クリエート浜松

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
TEL.053-453-5311
FAX.053-453-5379



浜松文芸館

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
クリエート浜松4・5階
TEL.053-453-3933
FAX.053-453-3933



浜松科学館

〒430-0923
浜松市中区北寺島町256-3
TEL.053-454-0178
FAX.053-454-0184

(改装のため2019.7月まで休館。
別施設にて事業開催中)



浜松市浜北文化センター

〒434-0038
浜松市浜北区貴布祢291-1
TEL.053-586-5151
FAX.053-586-5153



浜松子ども館

〒430-0933
浜松市中区鍛冶町100-1
TEL.053-450-9111
FAX.053-458-0300



浜松市天竜壬生ホール

〒431-3314
浜松市天竜区二俣町20-2
TEL.053-922-3301
FAX.053-922-3300